

第11回近畿生コン関連団体労使懇談会

協組崩壊路線の転換を

値上げの前に値下げのシステムをやめろ！

約束の履行求め大衆行動を展開！

生コン産業政策協議会（生コン産労・全港湾大阪支部・近畿圧送労組・連帯労組関生支部）は、6月20日、協同会館アソシエで第11回近畿生コン関連団体労使懇談会を開催した。

懇談会では、近畿の生コン関連団体がそれぞれの現状と課題を報告。これを受けて政策協議会の代表は「今の広域協組は、人事そのものが崩壊状態を表している。この間、何度も形だけの値上げを打ち上げてきたが、全て失敗に終わっている。値上げには①値下げ



6月17日から、生コン輸送会社の適正運賃の約束履行を求めて北摂協組・広域協組に加盟する海山グループへの大衆行動に取り組んでいる。

輸送運賃を上げるためには生コン価格を適正化する必要がある。しかし、同グループが約束履行に向けた姿勢を見せないことから今回の行動に踏み切った。

北摂地域の市況が安定し、適正運賃が収受されるまで行動は展開される。

の仕組みを無くすこと②労組との協力関係の構築の2点が必要不可欠。それは、和歌山地域の再建の経緯や大阪での歴史をみれば明らかだ。

また、一部の専業社もセメントメーカーの尻馬に乗って労組との約束を反故にしようとしている。しかし、セメントメーカーの真の狙いは中小企業潰しと労組潰しであることを忘れてはならない。専業社であろうともメーカーの言いなりとなる社に対しては即時約束の履行を即時求めていく」と訴えた。

次回の懇談会は8月22日（金）13：30～ 協同会館アソシエ

生コン産業政策協議会（生コン産労・全港湾大阪支部・近圧労組・関生支部） 大阪市西区川口2-4-28 Tel.06(6583)5546

政策協議会共同ニュース

2014年
6月20日号



各協同組合から

共販事業10月開始！

近畿生コンクリート圧送協組

生コン圧送の工事中に起こるトラブルで最も頻度が高く困難な「閉塞」の原因究明を行うために、本年6月から一斉調査を再開した。また、京都地域では4月から共同受注がスタート。アウト社の協組加盟が進んでいる。さらに大阪・奈良・兵庫で新価格表を通知した。加えて、共同販売事業の10月開始に向けてシェアを確定。圧送に適したシェア運営を模索している。

輸送のプロ育成目指し

近畿バラセメント輸送協同組合

バラ車の実台数の把握と協組加入促進に向け、労組の協力を得て背番号調査を実施。

燃料高騰のため、サーチャージ制度の実現を販売店に求めていく。さらに、輸送協と合同で7月12日に安全大会を行う。

キャンセル料金収受を

近畿生コン輸送協同組合

前日の遅い時間や当日のキャンセルがあった場合、適正なキャンセル料金を収受できるように荷主に求める。アウト社を含め30数社が集まり、価格を設定。6月後半から7月にかけて申し入れをしていく。

5月に日高地区生コン協組が連合会に加盟。県内にある全ての協同組合が連合会に結集した。それによりさらに業界が安定。生コンの出荷量は少ないが、各社が適正な利益を確保している。

県下全協組で業界安定

和歌山県生コンクリート協組連

91%が新契約物件になっており、新価格が収受できている。1工場700万円の売り上げ増。アウト社は安値販売・薄利多売でイン社に比べて出荷を伸ばしている。今後はアウト対策強化が必要。

新価格収受で確信深め

湖東生コン協同組合

今年1月から労使で適正価格収受に取り組んでいる。アウト・越境対策が進み、市内の価格も安定しつつある。

「奈良の今後を注目してほしい」と澁谷理事から頼もしい発信があった。

アウト対策で成果得て

奈良県生コンクリート協同組合

品質保証・品質向上のための積立金制度を新たに設立。従来からある瑕疵担保保証・PL保険の対象を上回る被害を想定している。また、元賛助会員を正会員にする取り組みを進めている。

画期的な品質保証制度

阪神地区生コン協同組合